

安全データシート

整理番号 sagamihiryou-2

作成日 2020年2月27日

1. 製品及び会社情報

製品名 : でき秋壺番
会社名 : 全国農業協同組合連合会
担当部署 : 耕種資材部
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
電話番号 : 03-6271-8285
FAX番号 : 03-5218-2536
電子メールアドレス : zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先 : 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 火薬類 : 可燃性/引火性ガス : 可燃性/引火性エアゾール : 支燃性/酸化性ガス : 高压ガス : 引火性液体 : 可燃性固体 : 自己反応性化学品 : 自然発火性液体 : 自然発火性固体 : 自己発熱性化学品 : 水反応可燃性化学品 : 酸化性液体 : 酸化性固体 : 有機過酸化物 : 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない 分類対象外 分類対象外 区分外 区分外 区分外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口) : 急性毒性(経皮) : 急性毒性(吸入:ガス/蒸気/ミスト) : 急性毒性(吸入:粉じん) : 皮膚腐食性/刺激性 : 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 呼吸器感作性/皮膚感作性 : 生殖細胞変異原性 : 発がん性 : 生殖毒性 : 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) : 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) : 吸引性呼吸器有害性	区分4 区分 5 分類対象外 区分 4 区分 2 区分 1 分類できない 分類できない 分類できない 区分 3(呼吸器系) 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	: 水生環境有害性(急性) : 水生環境有害性(慢性) : オゾン層への有害性	区分 2 区分 2 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害(経口)
皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
吸入すると有害(粉じん)
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】 : 適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用すること。
粉じんを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

3. 組成及び成分情報				
化学物質・混合物の区別	： 混合物			
化学名又は一般名、別名	： カルシウムシアナミド 40%			
成分及び含有量	化学名又は一般名	割合(%)	含有量(%)	官報公示整理番号
	カルシウムシアナミド	12.00	4.80	(1)-121
				CAS No.
				156-62-7

4. 応急措置	
吸入した場合	： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。多量の場合、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	： 付着部又は接触部を石鹼できれいに洗い流す。外観に変化が見られたり痛みが続く場合は医師の手当てを受ける。
目に入った場合	： 清浄な水で15分以上洗浄する。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。 洗眼の際、瞼を指でよく開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るように洗浄する。 直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	： 正気な場合、水か牛乳を飲ませ直ちに医師の手当てを受ける。 被災者に意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。 また、吐かせようとしてもいけない。

5. 火災時の措置	
消火剤	： 粉末消火剤、ソーダ灰、石灰、砂
使ってはならない消火剤	： 水、泡消火剤
消火方法	： 適切な消火剤を使用する。 周辺火災の消火活動を行う。 容器内に水を入れてはいけない。 できれば容器を危険地域外に移す。

6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具および緊急時措置	： 適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用し拭取り回収を行うこと。
環境に対する注意事項	： 公共用水域に流出しないように留意すること。
回収・中和	： シート等で覆い、飛散防止を図り、容器を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い上の注意事項	： 24時間は飲酒しない。 適切な保護具を着用する。 破袋しないよう注意する。 水濡れに注意する。
保管上の注意事項	： 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	： 設定なし。
設備対策	： 換気を良くし、粉塵の飛散を防止する。
許容濃度	： 設定されていない。
日本産衛学会(2005年)	： 設定されていない。
ACGIH(2005年)	： TLV-TWA 0.5 mg/m ³
保護具	
呼吸用保護具	： 保護マスク
手の保護具	： 不浸透性手袋
眼の保護具	： 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	： 不浸透性防除衣、ゴム長

9. 物理的及び化学的性質	
外観(色/形状)	： 灰黒色の粒状物
臭い	： なし
pH	： 12~13(肥料分析法に準ずる)
融点・凝固点	： データなし
比重	： 0.9~1.2
溶解度	： 可溶(水)

10. 安定性及び反応性	
安定・反応性	： 空気中に放置すれば、水及び二酸化炭素を吸収して、酸化カルシウム及びジシアンジアミドを生じる。 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。
その他	： 水と反応して、体積膨張し容器を破壊することがある。

11. 有害性情報	
急性毒性	: ラット(経口) LD50 700mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 長時間接触し発汗を伴うと、潰傷・発疹することがある。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: 眼を刺激し、粘膜を侵すことがある。
慢性毒性・ガン原生	: 認められていない(医薬品シアナミドによる長期投与例による)
変異原生	: データなし
その他	: 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。 取扱中に吸入すると咽喉や気管支に炎症を起こすことがある。 取扱中に吸入した後に飲酒すると、軽い中毒作用を起こすことがある。 (頭や上半身の充血、呼吸困難、心臓の興奮、心拍の進時には嘔吐 や下痢を伴うこともある。)
12. 環境影響情報	
分解性	: 土壌中で分解しアンモニア、水酸化カルシウム、炭酸カルシウム、炭酸ガスとなる。
魚毒性	: TLM 150ppm
13. 廃棄上の注意	
廃棄方法	: 水溶液は、強アルカリ性のため中和等の処理が必要である。 分解の終了まで動植物に影響があり、一箇所に多量に廃棄しない。 下水、河川への直接廃棄しない。 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理 業者に委託する。
14. 輸送上の注意	
国際規制	: 該当しない
国内規制	: 該当しない
陸上規制情報	: 該当しない
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
特別の安全対策	: 海上輸送や筋漏れに注意すること。 破損しないよう丁寧に取扱うこと。
15. 適用法令	
肥料取締法	: 石灰窒素(第3条 公定規格)
農薬取締法	: 石灰窒素(第2条)
水質汚濁防止法	: 生活環境の保全に関する環境基準項目(全窒素)
労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき有害物(法第57条2、施行令第18条の2別表第9)
化学物質管理促進法	: 第一種指定化学物質 政令番号77号 カルシウムシアナミド
16. その他の情報	
参考文献等	
1 14705の化学商品 2005年(化学工業日報社)	
2 国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所)	
3 GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)	
4 GHSモデルMSDS情報(中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター)	
5 黒須健一:石灰窒素中毒の実験研究(産業医学2巻7号557-593)(昭和32年)	
6 黒須健一:石灰窒素中毒の一症例(農村医学7巻3号226-238)(昭和32年)	
記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は、保証値ではありません。 危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、 すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには充分注意してください。 注意事項等は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、その時点のご配慮を お願いします。	
本SDSは、下記相模肥糧株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。	
会社名	: 相模肥糧株式会社
住所	: 〒256-0813 神奈川県小田原市前川405
電話番号	: 0465-43-0131
FAX番号	: 0465-43-1999
緊急連絡先	: 0465-43-0131